

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会
会員各位

前略

皆様、いつも本会の活動に多大なご協力ご支援を賜り、まことに有難うございます。

さて 9/1 (水) の災害対策訓練においては、日常業務で大変忙しい中、またコロナ対応で落ち着かない中、訓練への積極的なご参加、まことに有難うございました。下記に総括をご報告申し上げます。

草々

令和3年9月1日 三多摩腎疾患治療医会災害対策訓練 総括

I. Tokyo DIEMAS を利用した災害情報登録訓練 (日本透析医会ネットワークへの連携入力)

地区	情報登録実施施設数/ DIEMAS 登録施設数(実施率%)
西多摩	7/8 (87.5 %)
南多摩	29/34 (85.3%)
北多摩西部	12/19 (63.2%)
北多摩南部	22/27 (81.5%)
北多摩北部	8/10 (80%)
三多摩合計	78/98 (79.6%)

日本透析医会への情報登録実施施設数 229/444 (51.6%: 東京、神奈川全体での集計結果です)

まとめ：上記のごとく、Tokyo DIEMAS を利用した訓練参加率は約 80%と良好でした。申し訳ありませんが、今回は、三多摩地区各ブロックにおける日本透析医会への連携入力の実施率の集計結果入手できず、結果報告ができませんでした。来年は報告できるように調整いたします。

II. メーリングリストを利用した地区情報の共有訓練

地区	返信実施施設数/三多摩会員施設数 : 実施率%
西多摩	9/ 10: 90%
南多摩	25/ 38: 66%
北多摩西部	13/ 21: 62%
北多摩南部	12/ 27: 44%
北多摩北部	9/ 14: 64%
三多摩合計	68/ 110: 62%

まとめ：昨年の合計参加施設数は 57/108 施設 (53%) でしたので、だいぶ参加率が改善しておりました。何度かお伝えしておりますが、ブロック長から問い合わせのあった災害時メーリングリストに、あらかじめ正しい担当者と正しいメールアドレスが登録されていないと、メーリングリストに返信ができず、訓練に参加できません。来年も 8 月中に災害時メーリングリストのアップデート依頼が各ブロック長からありますので、ご対応をよろしくお願ひいたします。

III. MCA 無線による三多摩内および都区部との連携訓練 ※MCA 無線設置 18 施設のみ

三多摩内での連絡に関しては、これまで通り問題ありませんでした。全施設、訓練に参加いただき、有難うございました。一方で、都区部との共用通信はごく一部の施設としか交信ができませんでした。原因として、無線機の使用方法に関する問題もありますが、無線の通信環境自体の問題があるようで、今後、都区部の担当者・業者との調整を進める予定です。

以上

令和 3 年 9 月 7 日

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会

理事長 要 伸也

災害対策委員長 尾田 高志

不明などございましたら尾田 (takashio@tokyo-med.ac.jp) までご連絡下さい。